

令和4年度 学校評価報告書

丹波篠山市立城南小学校
校長 小林 義則

1 学校教育目標等

『夢や希望をもち、個が輝く楽しい学校づくり』

2 今年度の重点目標

- ・教職員（楽しい職員室を合い言葉に）の協働により、教育目標や実践課題が全教育活動を通じて具現化されるように努める。
- ・危機管理体制を確立し、子どもが安全を守り安心して学べる学校づくりに努める。
- ・確かな学力の育成を図るため、基礎的・基本的な知識技能の習得と「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。
- ・地域に根ざした教育を進めるために、ふるさと教育を推進し学校の情報発信や地域の人材活用を通して開かれた学校づくりに努める。

3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
安全安心な学校づくり	新型コロナウイルスへの感染予防対策の徹底	A	・日々の検温、手洗い、マスクの着用の徹底が図れるよう、各学級及び児童全体への指導を行い、児童が感染予防を意識した適切な行動がとれている。
	児童が安全に過ごせるように校内の環境を整え、安全についての学習（特活・朝の会・終りの会など）に取り組んでいる。	B	・日頃から時間を有効に活用し、安全・安心して過ごせる環境となるよう整理整頓や清掃を細やかに行った。教室環境を整える意味についても児童に伝えた。 ・ヒヤリハットなどの身近な安全の学習に取り組み、子どもたち自身の危機管理意識を高めることができた。
学習指導	ICT機器を活用し、視覚支援や学びを確実にする授業改善に取り組んでいる。	A	・子どもたちが進んでクロームブックを活用し、学習する習慣が身についてきた。 ・社会や算数において、デジタル教科書の動画を使用することで、児童に関心をもたせることができる。
	めあてを掲示し、グループやペアでの学び合いをする場面や見通しを持たせる授業改善に取り組んでいる。	B	・疑問に思ったことを児童の言葉を使い、めあてを設定することができた。 ・ペアやグループでの活動の時間を設けることができた。話し合う活動を取り入れてきたが、なかなか話し合いを充実させることができていない。低学年からスモールステップで取り組む。
	児童の基礎学力の定着するために、教材研究や課題の与え方など工夫して取り組んでいる。	B	・書画カメラの活用し、何処を学習しているのかを分かりやすくするための授業を意識した。 ・すぐに成果は出ないが、試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいます。子どもの「わかった！」がうれしい。
生徒指導	道徳や学級活動を中心に、自己肯定感を高める取り組みを行っている。	B	・クラスは落ち着ける場所であることや、帰属意識が高まるような声かけや指導を意識的に取り組んできた。 ・自己肯定感を高める授業を今後も取り組んでいく。 ・何事も一生懸命に取り組めることができる雰囲気ができている。
	児童が時間やルールが守れるように、教師が率先して5分前行動や授業時間を守っている。	A	・時間やルールを守ることの大切さや必要性について全職員で繰り返し指導を続けることにより、少しずつ児童の意識が向上している。

地域とともに にある学校	地域に出かけたり、体験的な活動を取り入れふるさと学習を計画的に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会で保護者の方に学習の成果を発表することができた。 ・各学年の生活・総合的な学習の時間などの年間計画を見直し、教科との関連を図りカリキュラムマネジメントに取り組んでいく。
	児童にあいさつの意味を伝えるとともに、教員から積極的にあいさつをしている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・以前よりはよくなってきているが、まだまだ十分ではない。今後も教職員からの積極的な働きかけが必要である。 ・地域の方との連携を推進していき顔見知りを増やし、みんなが積極的に挨拶をできるように進めていく。

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で、学習スタイルが随分変化し、時代の流れなのかなと受け止めています。これらを担う子どもたちに、適切な機器の活用や体験的な学習の充実を願っています。 ・子どもたちは、一人一人必ず良いところを持っています。子どもたちは気づいていないだけだと思います。日常生活の中で、家庭でも自分のよさに気づけるような言葉がけや場を大事にしていきたいものです。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で、学校に寄せていただく機会が以前と比べ随分と減りました。子供たちの姿を目にすることも少なくなり、ちょっと寂しい感じがしました。しかし、アンケート結果から現状を受け止め、それに応じて先生方が創意工夫の中で指導を重ねていただいていることがとてもよく伝わってきます。感謝です。早くコロナが収束し、以前のように子供たちがのびのびと学校生活を送れるようになることを願っています。 ・夕方暗くなった時などグラウンドで遊んでいる子がいなくなり安心しています。先生方の声かけのおかげです。 ・高学年になると自分のよいところを照れくさくて言わなくなりますが、友だちのよいところをよいと言えたり、認めたりすることのできる子が多いと感じています。
--

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・キーボードを打つスピードの速さは凄いです。幼い頃からパソコンに触れると言う事は、吸収力が違いますね。大人から見るとすごい力がついているように思いますが、子供同士比べると、その凄さがわからないのかもしれないかもしれませんね。 ・リモートで授業してもらえたのはすごく良かった。タブレットを開いているときは、目がやる気になっていて、親は嬉しい気持ちになります。 ・宿題の量が多くても、自分自身で考え、嫌がらずすらすらとこなすことができる子が多くなっています。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・1人でも自然に挨拶ができるようになれば本物。継続的な取り組みを重ねていくことが大切です。「挨拶は、先にかけてよう、続けよう」 ・城南の子は挨拶ができないなあと思っていましたが、挨拶をする子が増えてきて嬉しかったです。 ・夕方、暗くなった時などグラウンドで遊んでいる子がなくなり安心しています。先生方の声かけのおかげです。
地域とともに にある学校	<ul style="list-style-type: none"> ・よいお友達、恵まれた環境があり、本当にありがたく思っています。子どもたちの「やりたい！」の気持ちを大切に、勉強も大切ですが（時間がないのは十分わかっていますが）、今にしかできないことを沢山やらせてやってほしいです。 ・地域に様々な人材の方がおられる。子供たちが正しく、丁寧な言葉遣いができていないとあげられているが、アナウンサーや記者の方などを招いて言葉の大切さを伝えることなどもしてはどうだろうか。 ・保護者同士も顔を合わせる機会が少なくなり、保護者同士での情報が共有されなかったり、伝わりにくくなってきている。PTA 活動もその辺を考え、来年度頑張っていけたらと考える。 ・いろんな学習を毎回楽しみにしています。コロナだ頃中ではありますけれども、積極的に取り組んでいただけたことがとてもうれしいです。

